

## ◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代女性)あります。本年の累積報告数は19例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。  
○京都市感染症情報センター「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(70歳代男性)あり、症状は発熱、菌血症です。感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は59例となっています。  
京都市では、肺炎球菌ワクチンを定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLをご参照ください。  
○京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>  
○高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種について  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告が1例(80歳代男性)あり、本年の累積報告数は6例です。届出基準等については、下記のホームページを御覧ください。  
○厚生労働省「薬剤耐性アシネトバクター感染症 感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について」  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-140912-4.html>

## ◆ 今週のトピックス: <レジオネラ症>

- 京都市におけるレジオネラ症の平成28年の累積報告数は8例(男性5例, 女性3例)となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類: 結核 5例(肺結核 2例, その他結核 3例)うち喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 248例(肺結核 130例, その他結核 57例, 潜在性結核感染者 61例)うち喀痰塗抹陽性 60例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 19例】
- 五類: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例 (第37週追加報告分)【1月以降の累積報告数 6例】
- 五類: 侵襲性髄膜炎菌感染症 1例 (第37週追加報告分)【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 59例】
- 五類: 梅毒2例(無症候1例, 晩期顕症1例) (第34週・第37週追加報告分)【1月以降の累積報告数 31例】
- 五類: 薬剤耐性アシネトバクター感染症1例【1月以降の累積報告数 6例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

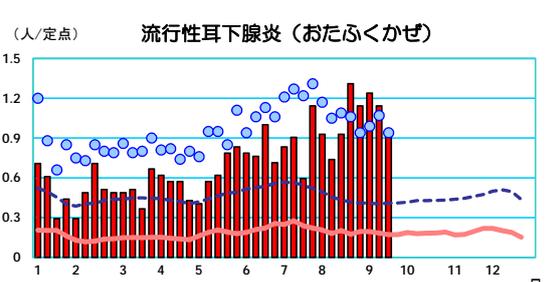
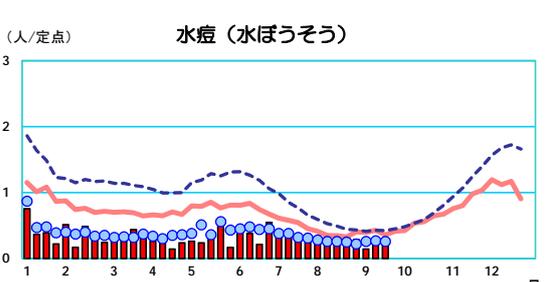
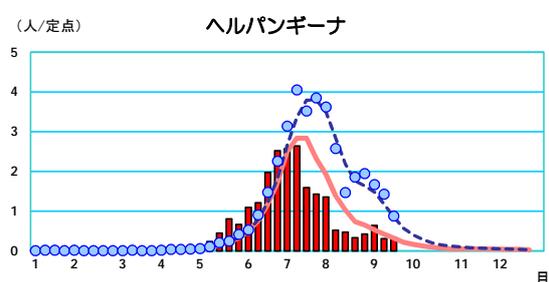
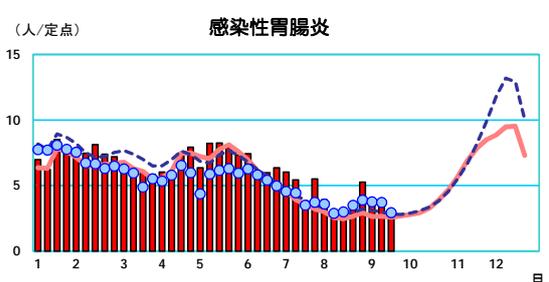
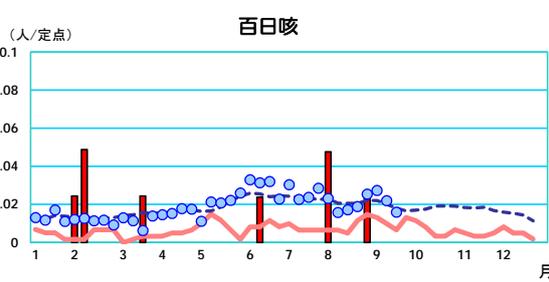
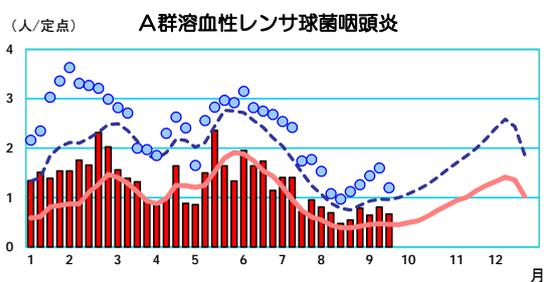
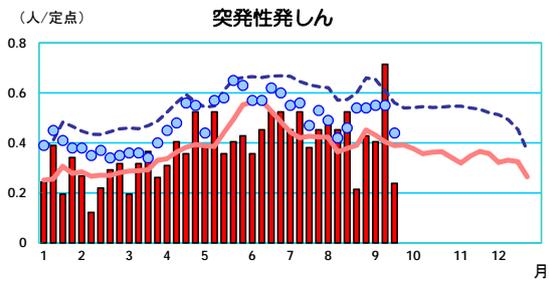
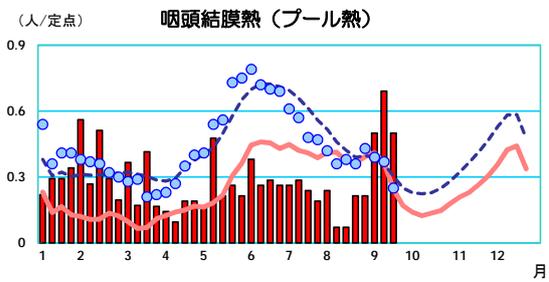
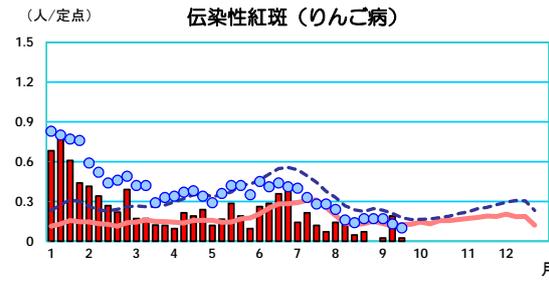
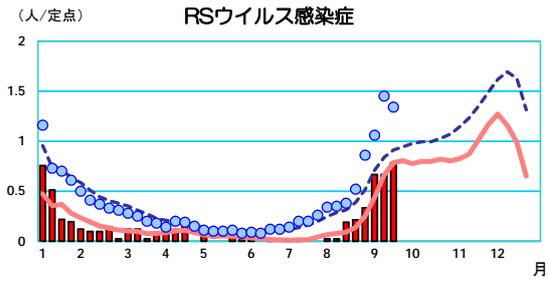
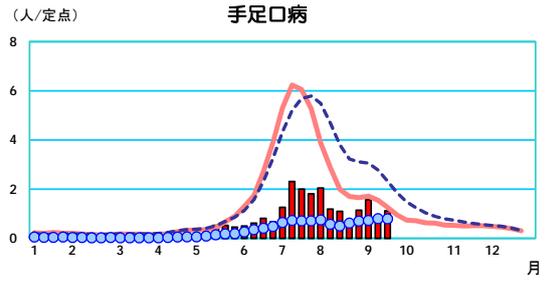
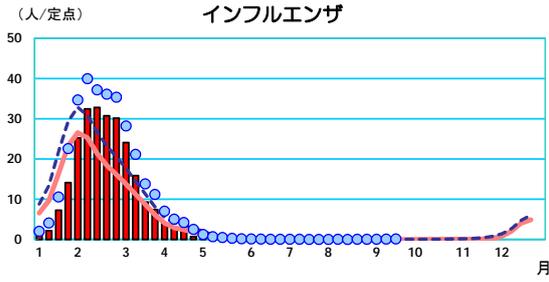
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.04	3
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.93	123
	② 手足口病	1.12	47
	③ 流行性耳下腺炎	0.95	40
	④ RSウイルス感染症	0.79	33
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.67	28
眼科	流行性角結膜炎	0.90	9

### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <レジオネラ症>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年9月29日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



## 第38週(9月19日～9月25日)トピックス: &lt;レジオネラ症&gt;

## 京都市及び全国の発生動向

京都市におけるレジオネラ症の平成28年の累積報告数は8例(男性5例, 女性3例)となっています(表1)。平成23年～平成28年第38週までの累積報告数は79例で, 男性62例(78.5%), 女性17例(21.5%)となっており, 男性が大半を占めています(表1)。年齢階級別では, 男性は60～70歳代にピークがあり, 女性は70歳代以降の報告が多く見られます(図1)。月別では, 7月が最も多いですが, 一年を通じて発生が見られます(図2)。全国の年次別報告数は年々増加しており, 本年も第38週時点で1000例を超えています(図3)。

## 症状

レジオネラ症は, レジオネラ属菌を含むエアロゾルや塵埃を吸入することにより発症する細菌感染症で, 劇症型のレジオネラ肺炎と一過性のポンティアック熱の2つの病型があります。

レジオネラ肺炎の潜伏期間は2～10日です。全身倦怠感, 頭痛, 筋肉痛などの症状に始まり, 乾いた咳, 痰, 高熱, 悪寒, 胸痛, 呼吸困難が見られるようになります。傾眠, 昏睡, 幻覚, 四肢の振せんなどの中枢神経系の症状や下痢を伴うことがあり, 適切な治療が行われなければ死亡する可能性もあります。ポンティアック熱は, 潜伏期間が1～2日で, 突然の発熱, 悪寒, 筋肉痛で始まり, 一過性で治癒します。

## 予防

感染源となる設備に24時間風呂などの循環式浴槽, 冷却塔, 給湯設備, 加湿器, 噴水などがあります。特にこれらの設備の配管内部の「ぬめり」がレジオネラ属菌を含め細菌の温床となりますので, 短い期間での水の交換, 水槽・配管の定期的な清掃消毒などの衛生管理を行い, 増殖を防ぐことが重要です。

表1 京都市の年次別, 性別報告数の推移

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年 (～第38週)	平成23～28年 合計
男性	10	7	4	14	22	5	62
女性	2	0	4	2	6	3	17
合計	12	7	8	16	28	8	79

図1 京都市の性別, 年齢階級別報告数(平成23年～平成28年)

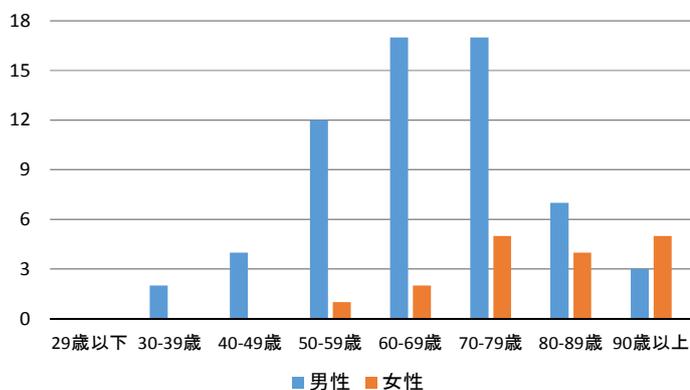


図2 京都市の月別報告数(平成23年～平成28年)

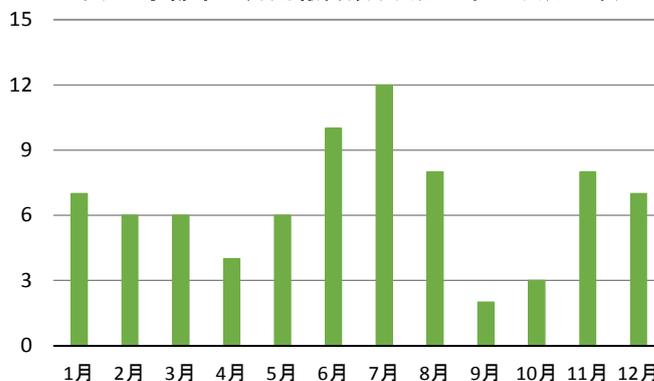
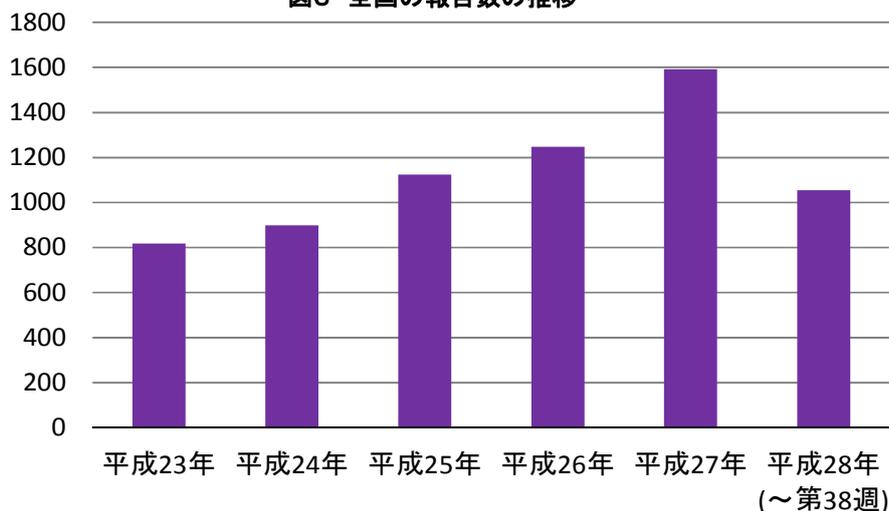


図3 全国の報告数の推移



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第38週

疾病,行政区別報告数

平成28年9月19日～平成28年9月25日

データ入手日:平成28年9月29日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	1	1	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	7						
上京	-	-	-	3	1	-	6	-	1	-	2	1	-	-						
左京	-	-	3	6	30	1	10	-	1	-	-	3	-	-						
中京	2	6	2	-	5	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	
東山	-	3	-	1	14	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	3	1	7	2	-	3	-	3	-	-	5	-	1						
下京	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	1	4	2	7	2	6	-	-	-	3	5	-	-						
右京	-	13	4	5	16	-	2	1	1	-	-	6	-	1						
伏見	-	3	1	-	23	8	16	-	2	-	7	7	-	-						
西京	-	2	6	4	19	-	3	-	1	-	1	12	-	-						
京都市計	3	33	21	28	123	12	47	1	10	-	14	40	-	9	-	-	2	-	-	

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.14	0.25	-	-	1.00	-	-	-	-	-	0.25	-	-	7.00						
上京	-	-	-	1.00	0.33	-	2.00	-	0.33	-	0.67	0.33	-	-						
左京	-	-	0.75	1.50	7.50	0.25	2.50	-	0.25	-	-	0.75	-	-						
中京	0.40	2.00	0.67	-	1.67	-	-	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	2.00	-	-	
東山	-	1.50	-	0.50	7.00	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	0.75	0.25	1.75	0.50	-	0.75	-	0.75	-	-	1.25	-	1.00						
下京	-	0.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	0.33	1.33	0.67	2.33	0.67	2.00	-	-	-	1.00	1.67	-	-						
右京	-	2.60	0.80	1.00	3.20	-	0.40	0.20	0.20	-	-	1.20	-	1.00						
伏見	-	0.43	0.14	-	3.29	1.14	2.29	-	0.29	-	1.00	1.00	-	-						
西京	-	0.40	1.20	0.80	3.80	-	0.60	-	0.20	-	0.20	2.40	-	-						
京都市計	0.04	0.79	0.50	0.67	2.93	0.29	1.12	0.02	0.24	-	0.33	0.95	-	0.90	-	-	2.00	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第38週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年9月19日～平成28年9月25日

データ入手日:平成28年9月29日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	33	5	10	13	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		21	-	3	4	5	2	3	1	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		28	-	-	1	1	5	5	4	2	-	1	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		123	2	11	16	11	7	7	13	7	4	3	5	19	6	12	-	-	-	-	-	-
水痘		12	-	-	-	-	5	-	3	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		47	1	3	21	8	5	4	2	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		10	-	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		14	-	-	6	2	3	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		40	-	-	-	3	4	7	5	5	5	7	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	9	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	1	-	-	1	2	-	2	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.79	0.12	0.24	0.31	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.50	-	0.07	0.10	0.12	0.05	0.07	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.67	-	-	0.02	0.02	0.12	0.12	0.10	0.05	-	0.02	0.05	0.14	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.93	0.05	0.26	0.38	0.26	0.17	0.17	0.31	0.17	0.10	0.07	0.12	0.45	0.14	0.29	-	-	-	-	-	-
水痘		0.29	-	-	-	-	0.12	-	0.07	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1.12	0.02	0.07	0.50	0.19	0.12	0.10	0.05	-	-	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.24	-	0.07	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.33	-	-	0.14	0.05	0.07	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.95	-	-	-	0.07	0.10	0.17	0.12	0.12	0.17	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.90	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-	0.10	0.10	-	-	0.10	0.20	-	0.20	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	2.00	-	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第38週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年9月29日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		-	-	1	-	-	3
RSウイルス感染症		8	9	14	28	28	33
咽頭結膜熱		3	9	9	21	29	21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		20	23	33	27	34	28
感染性胃腸炎		122	151	221	157	143	123
水痘		9	13	12	6	12	12
手足口病		46	28	48	66	36	47
伝染性紅斑		2	3	-	1	8	1
突発性発しん		22	9	18	17	30	10
百日咳		-	-	1	-	-	-
ヘルパンギーナ		20	14	18	27	13	14
流行性耳下腺炎		39	55	48	52	48	40
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	4	2	2	3	9
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		2	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	2
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		296	318	425	404	384	343

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		-	-	0.01	-	-	0.04
RSウイルス感染症		0.19	0.21	0.33	0.67	0.67	0.79
咽頭結膜熱		0.07	0.21	0.21	0.50	0.69	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.48	0.55	0.79	0.64	0.81	0.67
感染性胃腸炎		2.90	3.60	5.26	3.74	3.40	2.93
水痘		0.21	0.31	0.29	0.14	0.29	0.29
手足口病		1.10	0.67	1.14	1.57	0.86	1.12
伝染性紅斑		0.05	0.07	-	0.02	0.19	0.02
突発性発しん		0.52	0.21	0.43	0.40	0.71	0.24
百日咳		-	-	0.02	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.48	0.33	0.43	0.64	0.31	0.33
流行性耳下腺炎		0.93	1.31	1.14	1.24	1.14	0.95
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	0.40	0.20	0.20	0.30	0.90
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		2.00	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	2.00
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		9.23	7.88	10.26	9.77	9.37	10.78

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。